

2020年1月27日
凸版印刷株式会社

凸版印刷、調光フィルムを「NewDays」で活用
スイッチひとつで透明/不透明を切り替えることができる
調光フィルム「LC MAGIC」で、イートインスペースの利用を促進

凸版印刷株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:麿 秀晴、以下 凸版印刷)は、スイッチひとつで透明と不透明を瞬時に変更できる調光フィルム「LC MAGIC (エルシー マジック)」を2016年6月より提供しています。

このたび、株式会社 JR 東日本リテールネット(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:高橋 眞)が運営するコンビニエンスストア「NewDays」東戸塚店のイートインスペースにおいて、「LC MAGIC」を活用し、プライバシー確保による集客効果の検証を目的とした実証実験を実施します。



「NewDays」東戸塚店に設置された調光フィルム「LC MAGIC」

© Toppan Printing Co., Ltd.

■ 背景

昨今コンビニエンスストアやスーパーマーケットなどの流通業界において、高まる「中食」需要や、普及が進む「働き方改革」による働き方の多様化を受け、集客力向上を目的にイートインスペースの設置を考える店舗が増えています。

このたび、凸版印刷は調光フィルム「LC MAGIC」を「NewDays」のイートインスペースで試験的に活用。利用者が透明/不透明を切り替えられることによる、利用状況の変化を調査します。本実証の結果を踏まえ「LC MAGIC」を、既に提供しているオフィスやインテリア業界のみならず、コンビニエンスストアや飲食店をはじめとした流通・サービス業界への利用拡大を目指します。

■ 実証実験の概要

目的	調光フィルム「LC MAGIC」を活用した、プライバシー確保による集客効果の検証
実施期間	2020年1月24日～3月24日(予定)
実施内容	イートインスペースの窓ガラスに調光フィルム「LC MAGIC」を設置し、利用者が自由に透明/不透明を切り替えられるようにすることで、利用状況の変化を調査
場所	「NewDays」東戸塚店 イートインスペース

■ 流通・サービス業界における「LC MAGIC」の利用例

・イートインスペースやカフェ、路面店などにおけるプライバシー確保

窓際の席や、隣の席へのプライバシー確保のために「LC MAGIC」を活用することで、利用シーンに合わせて透明/不透明を利用者が簡単に切り替えることが可能です。

・店舗のカーテンとしての活用で業務負荷低減

ロールカーテンやブラインドを使用している窓に「LC MAGIC」を使用することで、開店/閉店時や日よけのための開閉作業を、ボタン一つで瞬時に行うことが可能です。また、窓ガラスへ貼り付ける形での設置になるため、大きな工事は不要で、簡単に設置、メンテナンスを行うことができます。

・窓やガラスパーテーションに広告サイネージが可能

「LC MAGIC」を不透明にすると、プロジェクタースクリーンとして映像投射することが可能です。通常時は透明な窓やパーテーションを瞬時に広告サイネージスクリーンに切り替えることができます。

■ 「LC MAGIC」の特長

・通電すると透明になる「ノーマルモード」に加え、通電時に不透明な「リバースモード」をラインアップ

「LC MAGIC リバースモード」は透明状態で電気を使用しないため、透明での使用時間が長い場所での活用に適しています。また、停電時は透明になるため、万一の際に視界を確保することが可能です。

・容易にガラスへの後貼り施工が可能

「LC MAGIC」は、フィルム厚が非常に薄いため、ガラスへの後貼り施工が簡単に可能です。

・自由な形状へ簡単に加工が可能

「LC MAGIC」はカット可能なフィルムであるため、丸型や変型など自由な形状にカットすることが可能。窓の寸法や形状を選びません。

* 本ニュースリリースに記載された商品・サービス名は各社の商標または登録商標です。

* 本ニュースリリースに記載された内容は発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。

以 上